【蓄電池における経済効果の試算方法】

・対象期間: 2025 年 1 月～ 12 月
・対象顧客数: 約 2 万件
・グリッドシェア経済効果の定義

グリッドシェア経済効果
＝ ①太陽光と蓄電池設置（グリッドシェア制御）－ ②太陽光と蓄電池設置（デフォルトモード）

通常、②は太陽光の発電は自家消費に用いられて、余剰は FIT 期間中であれば FIT 単価で、FIT 期間終了後であれば非 FIT 単価で売電されます。蓄電池のデフォルトモードは蓄電池の初期設置時の設定で、時間帯別料金メニューで値段の安い時間帯で充電し、高い時間帯では放電するという動きをします。よって通常は蓄電池の充電は単価の安い夜間時間で行い、単価の高い朝晩に放電するというオペレーションとなります。初期設定時からグリッドシェア制御によってどのくらいのコスト削減効果が得られたかを「グリッドシェア経済効果」としております。**本試算の結果、2025 年月間平均削減金額が 2,115 円となりました。**

[免責事項]本データは、対象ユーザーの実際の実績に基づく平均値であり、お客様個人の経済的な利益とは異なる場合があります。グリッドシェアサービスは、これらの経済的利益を保証するものではありません。

【エコキュートにおける経済効果の試算方法】
＜前提条件＞
深夜電力単価： 30 円/kWh
エコキュート稼働： 6.7kWh（平均的な沸き上げ量）※25 年 11 月末～26 年 3 月末のデータに基づく
卒 FIT 売電単価： 8.5 円/kWh

AI 制御なし（夜間に実施）
・夜間電力を買って沸かす：201 円 （※深夜電力単価 30 円/kwh×6.7kwh）
・売電による収入：57 円 （※卒 FIT 売電単価 8.5 円/kwh×6.7kwh）
⇒ 1 日に「実質 144 円」を支払って沸かしている状態

AI 制御あり（太陽光の余剰電力で実施）
・太陽光の余った電気（タダ）を活用：0 円
⇒ 1 日あたり 144 円の電気代削減に

144 円（1 日の節約額）× 17.4 日（月間の平均晴天日数※）＝ 約 2,500 円
年間に換算すると、約 30,000 円分の電気代削減につながります。

※日本の平均的な晴天率（年間約 58%）は、気象庁の全国 47 都道府県の「年間晴れ日数」平年値（平均 212.3 日）より算出。

[免責事項]実際の電気代削減効果は各ご家庭の契約プランや天候、使用量によって異なります。本データは実証結果に基づく試算であり、効果を保証するものではありません。